

共同獣医学部学術セミナー

演題： 獣医療でCT検査をより有効に使う知見の蓄積

講師： 井手 優太郎 先生（鹿児島大学共同獣医学研究科画像診断学研究室）

日時： 令和 7年 7月 9 日（水） 16：00～17：00

場所： iCOVER 101

講演要旨：

近年、CT検査の普及は目覚ましいものがある。X線検査で判断が難しいものも、CT 検査では全身を多方向から評価でき、より有用な情報が得られることが一因である。つまり、精細な評価が可能であり、 獣医療においてもさらなる発展・普及が見込まれている。しかし、現時点では、CT画像での測定値などの報告が少ないことから、より一般化した評価とするにはさらなる研究が必要である。そのためCT検査における正常値・検査基準値および疾患特異的な変化の理解をさらに深めることは重要である。今回は、そのために私が大学院にて行った、犬のCT画像の評価法に関する複数の研究内容を紹介する。

問合せ先：水野 拓也（内線5894）